

## 幸せの青い鳥はどこに～あなたの欲しかったものは何ですか？ (P.2 から続き)

例えば WTO によると、乱開発はいけないと、新規開発に対しての環境配慮はあるものの、既成の水田の水資源涵養能力等の能力に関しては評価されていない。従って、最近特に重視されてきている「持続可能性」「環境保全型農業」「適正規模」「地域独自性」といったようなキーワードを掲げる農村開発や地域開発においては、WTO の考え方とは隔たりがある。もっと地域の特殊性や長期的な環境問題、環境資源を考慮した討議が行われるべきではないだろうか。

WTO によれば、「WTO は富者や権力者による独裁の道具である」とか、「WTO は雇用を破壊する」とか、「WTO は健康や環境や開発への関心を無視している」などの批判は、往々にして WTO の機能に対する根本的な誤解に基づいているという。以下は、WTO が言うところの利益と誤解である。

### WTO がもたらす 10 の利益

1. 多角的貿易体制は平和の促進を助ける
2. 紛争は建設的に取り扱われる
3. 規律は人々の生活をより楽にする
4. より自由な貿易は生活の費用を軽減させる
5. 多角的貿易体制は製品の量と選択肢を増やす
6. 貿易は所得を増加させる
7. 貿易は経済成長を刺激する
8. 基本原則は生活をより効率的にする
9. 政府は政治的働きかけから守られる
10. 多角的貿易体制は清廉な政府を育成する

### WTO に対するよくある 10 の誤解

1. WTO は政策を独裁する
2. WTO は自由貿易至上主義である
3. 開発より商業上の利益が優先される
4. 環境より商業上の利益が優先される
5. 健康や安全より商業上の利益が優先される
6. WTO は雇用を破壊し貧困を悪化させる
7. WTO では小国は無力である
8. WTO は強力な圧力団体の道具である
9. 弱国は WTO 加盟を強制される
10. WTO は非民主的である

さて、WTO は本当に途上国の地域住民の生活向上に役立つのだろうか？ WTO の枠に入ることで単なる物質社会へ組込まれることのみが道筋にあるのではなからうか？ 途上国の人々が真の豊かさとともに生き残っていくためには、ほんとうに WTO が必要なのか？ 逆に、WTO の枠組みから離れて、「国際競争」をしないという選択肢が、実は「豊かさ」への近道ではないのか？

### 世界貿易機関 (WTO : World Trade Organization) の概要

WTO は 1995 年に設立され、その前身は第二次世界大戦後に設立された GATT : 「関税と貿易に関する一般協定」である。GATT は確固とした法的根拠を持たず、常に暫定的な組織であったが、その下で多角的貿易体制が立ち上げられ今に至っている。その多角的貿易体制はモノの貿易から始まり、1947年から1994年まで GATT は、関税引き下げやその他の貿易障壁の削減について交渉を行う場であった。多角的貿易体制は、GATT の下で累次開催されたラウンドと呼ばれる貿易交渉を経て発展し、初期のラウンドは主に関税引き下げを対象としていたが、その後交渉にはアンチ・ダンピングや非関税措置などの他分野も含まれるようになった。そして、1986年から94年に行われたウルグアイ・ラウンドは WTO の設立へ導き、WTO は GATT (モノの貿易) や「GATS : サービス貿易に関する一般協定」(サービスの貿易) などの協定を含め貿易問題全体をカバーする確固たる法的根拠をもった国際機関として、国家間貿易についての世界的なルールを扱う唯一の国際機関として設立され、現在 GATT の諸協定は WTO 協定の一部として存続している。

WTO の主な機能は、貿易が可能な限り円滑に予測可能に、自由に流れることを確保することである。その結果、消費者も生産者も彼らが用いる最終製品、部品、原材料及びサービスの確実な供給と、より広範な選択肢を享受できることになる。そして、生産者も輸出者も外国市場が開放され続けることを前提とし、WTO は、より希望に満ちた平和で予測可能な経済世界の実現を目指している。WTO での決定は、一般的に全加盟国のコンセンサスによりなされ、各加盟国の国会で批准される。また、貿易摩擦は WTO の紛争解決手続に移され、貿易紛争が政治的、軍事的紛争に拡大する危険を減らしている。

貿易障壁を削減することにより WTO の体制は、人々と国々の間のその他の障壁も打破しようとしている。この体制は、前述した多角的貿易体制と呼ばれており、その中心が WTO 協定である。この協定は世界の大多数の貿易国により交渉、署名されて各国の国会で批准されたもので、国際的な商取引の法的な基本的ルールであり、基本的に加盟国の重要な貿易上の利益を保障する契約である。また、万人の利益のために各国の貿易政策を協定の範囲内にとどめるよう政府を拘束する。つまりその目的は、モノ及びサービスの生産者、輸出者、輸入者が営業活動を行うことを助けることにあって、については WTO の目標は加盟国の人々の福利厚生の上にある。